

全国初！
関門海峡ミュージアムに
液状化道路の歩行体験が
常設施設に！



浸水

液状化

関門防災

KANMON BOUSAI

線状降水帯

浸水時避難の危険性が疑似体験できる国内唯一の体感型防災コンテンツ

液状化通路浸水歩行体験

浸水歩行体験では、浸水時の避難行動がいかに危険であるのかを実際に「はまる」という体験を通して、体感して頂きます。また、最深部では「土砂に埋まる」ことも同時に体験。身動きができなくなる体験より、土砂災害がどれだけ身近で危険であるかを体感し、大雨などが発生した際の「早期避難」と「ハザードマップの確認必要性」を訴求します。



常設設置



液状化体験



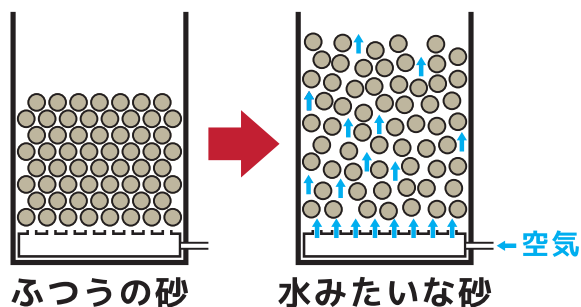
ARゴーグル

りゅうどうしょう

流動床インターフェイスとは

流動化した砂はまるで「水」と同様に! 「砂にしずむ」体験は驚愕!

流動床(りゅうどうしょう) インターフェイスは「流動化」と呼ばれる物理現象を転用した「砂の海」インターフェイス。容器に入った砂に対して上向きに空気が噴出されると、砂の重力と、持ち上げようとする空気の外力が拮抗し、砂が浮遊して全体が均一な流体のように動く現象。ものづくり大学(埼玉県行田市)の的場 やすし氏(的場ラボ主宰)と、体感型 防災訓練のパイオニアである防災REVOの共同開発にて、日本初となる「液状化通路浸水歩行体験」が完成。



『液状化通路 浸水歩行体験』とは

浸水時には「マンホールの蓋が外れていること」や「側溝」や「水路」が見えずにハマってしまう事故が、毎年のように発生しています。浸水歩行体験では、浸水時の避難行動がいかに危険であるのかを実際に「はまる」という体験を通して、体感して頂きます。また、最深部では「土砂に埋まる」ことも同時に体験。身動きができなくなる体験より、土砂災害がどれだけ身近で危険であるかを体感し、大雨などが発生した際の「早期避難」と「ハザードマップの確認必要性」を訴求します。

詳細はこちらから



体験イメージ



最初に通常の砂地であることを確認します。



液状化発生により一気に足が沈んでいきます。



浸水用ARゴーグルを装着。周囲は浸水状態に。



泥水により足元が見えない状態での歩行の危険を体感。



少し歩くと溝にはまる疑似体験。

事前予約制

093-513-8333

(防災体験学習担当者直通)

受付時間 平日 9:00~17:00

会場: 関門海峡ミュージアム 北九州市門司区西海岸 1-3-3
営業時間: 9:00~17:00(最終入館 16:30) 駐車場: あり(有料)



メディア掲載

映像で詳しく見てみる

北九州グリッチ
instagram



運営 共創 門司港共創 M
KOJIKAWA CO-CREATION
PROJECT TEAM CONSORTIUM

企画 防災REVO (株式会社フラップゼロアルファ)

